



久保利 英明

日比谷パーク法律事務所
代表弁護士

経済同友会 つながる▶▶

リレートーク
#234

▶▶ 次回リレートーク

間下 直晃

ブイキューブ
取締役社長 CEO

シリコンバレーへの 移住で分かったこと



松田 憲幸

ソースネクスト
取締役社長

現在、世界の時価総額ベスト5（2017年11月30日現在）はすべて米国のIT企業です。1位のアップル、2位のグーグル、5位のフェイスブックの本社はシリコンバレーにあり、日本のIT企業はベスト50に1社も入っていないのが現状です。IT企業で世界を目指すのであれば、シリコンバレーに移住するしかないと決め、5年前に家族で移住しました。

移住して分かったことがいくつかあります。まず、一つ目はシリコンバレーにいれば、世界のあらゆるIT企業のCEOと会うチャンスが頻繁にある点です。日本であれば、東京以外に本社があっても、東京に支社があるように、IT企業であれば、ルーマニアやインドに本社があっても、シリコンバレーには支社があります。年に数回来られているCEOも多く、CEOに会えると一気に話が進み、しばしば大きな取引につながります。私の場合はCEOや幹部を自宅に招いて食事をし、家族ぐるみで親しくなることを心掛けています。お互い親密になれば、ビジネスのディールもあっという間に、そしてスムーズに進みます。

二つ目はシリコンバレーではインド、中国、ロシア、イスラエルをはじめ、世界中からさまざまな人々が集まって製品を作っているの、製品を使う各国のお客さまの気持ちがよく分かり、グローバルに成功する製品が作られやすいという点です。フェイスブックがいきなりインドで広まったのも、多くのインド人が企画からかかわっていたからです。日本のIT企業の場合は、日本人だけで企画している場合が大半なので、インドで広まる製品を作ることはほぼ不可能だと思います。

三つ目は、年齢をまったく問わない文化です。フェイスブック創業者のマーク・ザッカーバーグ氏をはじめ20代、30代の経営者がさまざまな素晴らしい製品やサービスを送り出しています。多くの新しいビジネスはシリコンバレーから生まれ、世界中に広がっています。そして、その成功者たちが社会にどんどん還元するのが常識で、経営者が尊敬される素晴らしい文化が形成されていて、これこそがシリコンバレーの本当の強さだと思います。